

令和4年度
普及指導年度計画

令和4年4月

柏崎農業普及指導センター
(柏崎地域振興局農業振興部)

目 次

第1	推進方針（総論）	
1	柏崎・刈羽地域の農業ビジョン	1
2	令和4年度推進方針	2
第2	課題別活動方針と指導計画	
1	農業を担う人材の確保・育成	
(1)	新規就農者の確保・育成	3
(2)	多様な人材が活躍できる経営体の育成	3
2	担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開	
(1)	農地の集積・集約化等による効率的な生産体制の構築	4
(2)	組織化・法人化の促進	4
(3)	新潟米基本戦略に基づく水田所得の最大化	5
(4)	新潟県園芸振興基本戦略の着実な実践	6
(5)	収益性の高い畜産経営の育成	7
(6)	経営の多角化	7
(7)	スマート農業及びGAPの実践等による生産・流通現場の 技術革新・生産基盤の強化	7
3	中山間地域農業の維持と農村の多面的機能の発揮	
(1)	地域農業の維持・振興に関する合意形成支援	8
(2)	野生鳥獣等による農作物の被害防止	8
第3	重点課題	
1	全県共通課題	9
第4	課題体系及び指導対象	13
第5	活動体制及び業務分担表	
1	組織及び活動体制	14
2	業務分担表	15
第6	普及指導員が実施する調査研究の課題一覧表	16
第7	新任普及職員が実施する課題解決活動の課題一覧表	16
第8	普及指導活動として実施する実証ほ及び普及が関わる主要 実証ほ一覧表	16

第1 推進方針（総論）

1 柏崎・刈羽地域の農業ビジョン

～意欲ある農業者が所得確保できる持続的な農業の発展～

農業従事者の減少、高齢化等により人手不足や農業生産力の低下が懸念される状況において、農業の担い手が柏崎・刈羽地域で暮らし稼げる農業の実現を目指す。

そのため、次代を担う人材の確保・育成に向け、新規就農者の確保・定着とともに多様な人材が活躍できる経営体を育成する。

また、ほ場整備等を契機とした農地の集約化による営農の効率化や法人化及び法人間連携の支援等により経営基盤を強化し、需要に応じた米生産の推進及び園芸産地の育成に取り組み、水田フル活用等による農業経営の安定化を目指す。

さらに、生産条件の厳しい中山間地域等では、持続可能な営農や集落機能の維持発展に向けた将来プランの策定及び実践を支援する。

【推進課題】

<p>【農業を担う人材の確保・育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新規就農者の確保 <p>【担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農地の集積・集約化による効率的な生産体制の構築 ○組織化・法人化の促進 ○新潟米基本戦略に基づく水田所得の最大化 ○新潟県園芸振興基本戦略の着実な実践 ○スマート農業及びGAPの実践等による生産・流通現場の技術革新・生産基盤の強化 <p>【中山間地域農業の維持と農村の多面的機能の発揮】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域農業の維持・振興に関する合意形成支援

【柏崎・刈羽地域の農業振興に係る主要目標】

目 標 項 目	基準年 (令和2年度)	年度目標 (令和4年度)	最終目標 (令和6年度)
<p>【農業を担う人材の確保・育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新規就農・就業者数 	10人/年	15人/年	15人/年
<p>【担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農地集積・集約化実践重点地区数 ○法人間の組織的連携 ○農業法人数 ○コシヒカリ1等級比率 ○飼料用米の単収 ○1億円を目指す園芸産地の販売額（4産地） ○GAP認証取得者 	<p>-</p> <p>-</p> <p>3/年</p> <p>38%</p> <p>基準単収+ 46kg/10a</p> <p>172,006千円</p> <p>3農場</p>	<p>2地区/年</p> <p>1地区/年</p> <p>1/年</p> <p>90%以上</p> <p>基準単収+ 150kg/10a以上</p> <p>230,070千円</p> <p>4農場</p>	<p>2地区/年</p> <p>1地区/年</p> <p>1/年</p> <p>90%以上</p> <p>基準単収+ 150kg/10a以上</p> <p>500,000千円</p> <p>7農場</p>
<p>【中山間地域農業の維持と農村の多面的機能の発揮】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○将来プラン策定地区数 	-	2地区	4地区

2 令和4年度推進方針

農業を担う人材の確保・育成、担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開及び中山間地域農業の維持と農村の多面的機能の発揮の3つの基本課題に基づき普及活動を展開する。特に、次の3課題を重点課題として設定し、担い手と地域に着目した普及指導活動を効果的に進める。

重点課題	<p>◎販売額1億円産地を育成するための取組実践～柏崎地域の儲かる園芸の実現による産地強化～〔えだまめ、たまねぎ、少量多品目、かき〕 (※少量多品目の重点品目：カリフラワー、ブロッコリー)</p> <p>◎中山間地域における持続可能な農業・農村の仕組みづくり〔現状分析：柏崎市別俣地区、将来プラン策定：柏崎市南鯖石地区、将来プラン実践：柏崎市菅地地区〕</p> <p>◎担い手を中心とした安定的な農業構造の確立〔農地集約化志向地区：柏崎市中通地区、法人間連携志向地区：柏崎市南鯖石地区〕</p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

農業を担う人材の確保・育成	<p>(1) 新規就農者の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 就農候補者及び就業希望者等の就業に向けた課題解決 ○ 認定新規就農者の就業計画の実践 ○ 4Hクラブ活動をとおした仲間づくり <p>(2) 多様な人材が活躍できる経営体の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 農業経営体の発展に向けた農福連携の取組推進 	<p>担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開</p> <p>(1) 農地の集積・集約化による効率的な生産体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 人・農地プランの話し合いによる農地集約化及び法人間の組織的連携 <p>(2) 組織化・法人化の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 法人化に向けた合意形成、設立初期法人の経営基盤強化 <p>(3) 新潟米基本戦略に基づく水田所得の最大化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 気象変動に対応した高品質良食味米の安定生産 ○ 「新之助」の高品質安定生産 ○ 主食用米並の所得確保に向けた飼料用米の多収穫生産 ○ 大豆の高品質安定生産 <p>(4) 新潟県園芸振興基本戦略の着実な実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ たまねぎ、えだまめ、少量多品目の単収向上、生産拡大による産地強化 ◎ アスパラガスの新規栽培者確保と技術習得による生産拡大 <p>(5) 収益性の高い畜産経営の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 水田飼料作物の生産利用体制づくり <p>(6) 経営の多角化・経営力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 外部専門家と連携した農業法人等の収益性向上 <p>(7) スマート農業及びGAPの実践等による生産・流通現場の技術革新・生産基盤の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ GAPの実践による農産物の安全性及び信頼性の確保と就業環境の改善
中山間地域農業の維持と農村の多面的機能の発揮	<p>(1) 地域農業の維持・振興に関する合意形成支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 地域住民の主体的参画による地域活動に向けた推進体制の構築 ◎ 営農継続・集落機能の維持に向けた将来プランの策定 ◎ 地域主体の将来プランの実践 <p>(2) 野生鳥獣害による農産物等の被害防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 農作物被害防止に向けた集落の取組体制づくり 	

第2 課題別活動方針と指導計画

1 農業を担う人材の確保・育成

(1) 新規就農者の確保・育成

- 関係機関・団体と連携し、就農候補者や就業希望者等への情報提供や就農相談活動により、新規就農者、新規参入者、法人等就業者等の新たな担い手を確保する。
- ニュー農業塾、新規就農者交流会等により、新規就農・就業者等若手農業者の生産及び経営管理技術の向上を図り、青年等就農計画の実践や着実な定着を支援する。
- 4Hクラブへの活動支援を通じて若手農業者の仲間作りや女性クラブ員の参加を広げるとともに、地域リーダーの育成や社会参画につながる活動を支援する。

指導事項	指導内容	対象	目標		担当者	効果測定方法
			項目	目標値 (前年度)		
ア 新規就農者の確保	(ア) 就農啓発及び就農・就業相談活動の実施	新規就農者候補者リスト掲載者、新規就農・就業意向者	新規就農者・就業者数	15人 (10)	石井	市町村等への調査
イ 次世代の経営者育成	(ア) 関係機関と連携した就農計画の実践支援	認定新規就農者 (5人)	前年より農産物売上額が向上した者	5人 (0)	石井	対象者への聞き取り
	(イ) 4Hクラブの活動支援	Yes農クラブ	プロジェクト活動実施数 新規会員数	1 (1) 2人 (1)	佐久間	対象者への聞き取り

(2) 多様な人材が活躍できる経営体の育成

- 地域における農福連携（施設外就労等）を試行する農業経営体を支援し、経営発展や社会貢献活動に向け農福連携の取組を推進する。

指導事項	指導内容	対象	目標		担当者	効果測定方法
			項目	目標値 (前年度)		
ア 農福連携の推進	(ア) 受入経営体と事業所のマッチング	雇用のある経営体、雇用意向のある経営体	新規農福連携経営体数	2 (2)	中村	対象者への聞き取り

2 担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開

(1) 農地の集積・集約化等による効率的な生産体制の構築

- 人・農地プラン策定の取組を推進するため、地域における話し合いや、法人の組織的連携に向けた話し合い活動を支援する。

注) 指導事項・内容、対象のゴシック文字は、重点課題を示す。

指導事項	指導内容	対 象	目 標		担当者	効果測定方法
			項 目	目標値 (前年度)		
ア 人・農地プランの話し合い・合意形成支援	(7) 農地の集約化に向けた担い手間の合意形成支援	農地集約化志向地区 (柏崎市中通地区)	集約化に向けた合意形成を踏まえた目標地図の素案作成地区数	1 (一)	石本	対象者への聞き取り
	(1) 法人等中心経営体の連携体制づくり	法人間連携志向地区 (柏崎市南鯖石地区)	法人等が連携して生産体制の見直す地区数	1 (一)	石本	対象者への聞き取り

(2) 組織化・法人化の促進

- 担い手を中心とした安定的な地域農業構造の確立に向け、関係機関と連携し、法人化に向けた合意形成を支援するとともに設立初期法人の経営の安定化を図る。

指導事項	指導内容	対 象	目 標		担当者	効果測定方法
			項 目	目標値 (前年度)		
ア 組織化・法人化等の推進	(7) 法人設立支援	法人化意向者	新規法人設立数	1 (2)	児玉	対象者への聞き取り

(3) 新潟米基本戦略に基づく水田所得の最大化

- 関係機関等と連携し、気象変動に強い米生産に向け、迅速かつ的確な情報提供と基本技術の徹底を図り、高品質良食味米を生産する。
- 研究会を通じ「新之助」生産者に防除や肥培管理等の情報提供を行うとともに、栽培指導の徹底により、食味・品質を確保する。
- 主食用米並の所得確保に向け、飼料用米の多収穫生産を図る。
- 大豆の高品質安定生産のための栽培指導を行う。

注) 点線以下の※は、目標達成に必要な営農体制づくりに関する指導内容・対象を示す。

指導事項	指導内容	対象	目標		担当者	効果測定方法
			項目	目標値 (前年度)		
ア 主食用米の高 品質安定生産	(ア) コシヒカリ・ こしいぶきの 高品質安定生 産	管内米出荷生 産者	コシヒカリ1等 級比率	90%以上 (91)	田中	J A調べ
			こしいぶき1等 級比率	90%以上 (21)		
	※農地の集約化に 向けた担い手間 の合意形成支援	※柏崎市中通 地区				
	(イ) 「新之助」の 高品質・安定 生産	管内新之助研 究会 (2)	基準達成率	100% (97)	板谷越	J A調べ
			平均単収	540kg/10a (394)		
イ 飼料用米の多 収と所得の確 保	(ア) 飼料用米の多 収穫生産指導	飼料用米生産 者	飼料用米の単収	地域基準単収 +150kg (地域基準単 収+72kg)	佐久間	J A調べ
ウ 大豆の高品質 安定生産	(ア) 大豆の安定生 産指導	大豆生産者 (19人)	収量180kg/10a 以上生産者率	60% (38)	石井	J A調べ
	※集落機能の維持 に向けた将来プ ランの作成支援	※柏崎市南鯖 石地区	3等級以上の比 率	40%以上 (6.2)		

(4) 新潟県園芸振興基本戦略の着実な実践

- たまねぎ、えだまめ、少量多品目、かきの産地化強化に向けて、生産技術の改善を進め、指導を通じて単収向上を図る。
- 地域重点品目の販売額の向上に向けて、単収向上による収益性の改善を進めることで、新たな生産者の確保や生産面積の拡大を図る。

注) 指導事項・内容、対象のゴシック文字は、重点対象を示す。

指導事項	指導内容	対 象	目 標		担当者	効果測定方法
			項 目	目標値 (前年度)		
ア 園芸産地の育成	(7) たまねぎ産地の育成	JA 柏崎たまねぎ生産部会 (30 戸)	JA 荷受単収 3.5 トン以上農家数	5 戸 (4)	児玉	JA への聞き取り
			整品率の向上	85% (72)		
	(1) えだまめ産地の育成	JA 柏崎えだまめ生産部会 (33 戸)	A 品収量 300kg/10a 農家数	10 戸 (9)	真貝	JA 選果場 利用実績
			平均 A 品収量	300kg/10a (224)		
イ 園芸生産の拡大	(7) 少量多品目産地等の拡大	JA 柏崎カリフラワー生産部会 (14 戸)	カリフラワー単収 1.8 トン以上農家数	3 戸 (1)	児玉	JA への聞き取り
			ブロッコリー単収 0.7 トン以上農家数	2 戸 (0)		
		JA 柏崎越後姫生産部会 (株)ファームくじらなみ	単収 4 トン以上出荷農家数	3 戸 (2)	真貝	JA 等への聞き取り
			育苗環境改善農家数	2 戸 (0)		
		アスパラガス生産者、新規生産者	新規栽培者数	1 人 (2)	真貝	栽培者への聞き取り
	生産者連携組織数	1 組織 (0)				
	新道かき栽培組合 かき栽培者	販売額	13,000 千円 (12,145)	中村	JA への聞き取り	

(5) 収益性の高い畜産経営の育成

- 畜産経営の持続的な発展のため、関係機関が一体となり水田作物の生産利用体制づくりを進め、意欲ある担い手の生産基盤の強化を図る。

指導事項	指導内容	対象	目標		担当者	効果測定方法
			項目	目標値 (前年度)		
ア 自給飼料の活用等によるコスト低減	(7) 水田飼料作物の生産利用体制づくり	水田飼料作物生産・利用意向者	WCS用稲作付面積	1 ha (0)	石本	栽培者への聞き取り

(6) 経営の多角化

- 農業法人等の収益向上に向けて、外部専門家と連携し、経営力の向上を図る。

指導事項	指導内容	対象	目標		担当者	効果測定方法
			項目	目標値 (前年度)		
ア 企画・販売力の強化	(7) 農業法人等の収益向上支援	売上や利益向上を目指す農業法人	経営計画の達成	5 (-)	児玉	随時確認

(7) スマート農業及びGAPの実践等による生産・流通現場の技術革新・産基盤の強化

- 県産農産物の安全性や信頼性の確保とともに、就業環境の改善に向けて、GAPの組みを推進する。また、認証GAP取得意向のある経営体に対して、認証取得を支援する。

指導事項	指導内容	対象	目標		担当者	効果測定方法
			項目	目標値 (前年度)		
ア GAPの導入実践促進	(7) GAP導入支援	GAP取得意向経営体 (3)	認証GAP新規取得経営体数	1 (0)	石井	GAPから始める農業発展支援事業

3 中山間地域農業の維持と農村の多面的機能の発揮

(1) 地域農業の維持・振興に関する合意形成支援

- 中山間地域の営農や集落機能を維持・発展させるため、地域住民が主体となった話し合いや取り組みを促進する。
- 農業法人等の活動組織が主体となって行う地域の将来プラン策定や活動組織づくりを伴走型で支援する。
- 地域が主体となって取り組む将来プランの実践を支援する。

注) 指導事項・内容、対象のゴシック文字は、重点課題を示す。

指導事項	指導内容	対象	目標		担当者	効果測定方法
			項目	目標値 (前年度)		
ア 営農継続に向けた地域の体制づくり	(ア) 地域の関係者の連携による推進体制づくり	柏崎市 別俣地区	現状分析実施地区数	1 (1)	児玉	対象者への聞き取り
	(イ) 集落機能の維持に向けた将来プランの作成支援	柏崎市 南鯖石地区	将来プランの策定数	1 (1)	田中	対象者への聞き取り
	(ウ) 地域が取り組む将来プランの実践支援	柏崎市 曾地地区	将来プランを実践する地区数	1 (-)	石本	対象者への聞き取り

(2) 野生鳥獣による農作物等の被害防止

- 農作物被害防止に向けた集落の話し合いや住民が協力した体制づくりを支援する。

指導事項	指導内容	対象	目標		担当者	効果測定方法
			項目	目標値 (前年度)		
ア 総合的な野生鳥獣被害防止対策の推進	(ア) 農作物被害防止に向けた集落ぐるみの取組支援	被害防止対策に関心のある集落	集落住民が協力した取組体制づくり	1 (-)	田中	対象者への聞き取り

第3 重点課題

1 全県共通課題

基本課題				リーダー
普及課題	指導事項	指導内容	対象	
【園芸の販売額1億円産地を育成するための取組の実践 ～柏崎地域の儲かる園芸の実現による産地強化～】				チームリーダー 中村普及課長
2 担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開				
(4) 新潟県園芸基本戦略の確実な実践	ア 園芸産地の育成	(7) たまねぎ産地の育成	J A 柏崎たまねぎ生産部会	
		(イ) 単収向上によるえだまめ産地の育成	J A 柏崎えだまめ生産部会	
	イ 園芸生産の拡大	(7) 少量多品目産地の育成	J A 柏崎カリフラワー生産部会	
			J A 柏崎越後姫生産部会 (株)ファームくじらなみ アスパラガス生産者、新規生産者 新道かき栽培組合、かき栽培者	
【中山間地域における持続可能な農業・農村の仕組みづくり】				チームリーダー 中村普及課長
3 中山間地域農業の維持と農村の多面的機能の発揮				
(1) 地域農業の維持・振興に関する合意形成支援	ア 営農継続にむけた地域の体制づくり	(7) 地域の関係者の連携による推進体制づくり	柏崎市別俣地区	
		(イ) 集落機能の維持に向けた将来プランの作成支援	柏崎市南鯖石地区	
		(ウ) 地域が取り組む将来プランの実践支援	柏崎市曾地地区	
【担い手を中心とした安定的な農業構造の確立】				チームリーダー 中村普及課長
2 担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開				
(1) 農地の集積・集約化等による効率的な生産体制の構築	ア 人・農地プランの話合い・合意形成支援	(7) 農地の集約化にむけた担い手間の合意形成支援	農地集約化志向地区 (柏崎市中通地区)	
		(イ) 法人等中心経営体の連携体制づくり	法人間連携志向地区 (柏崎市南鯖石地区)	

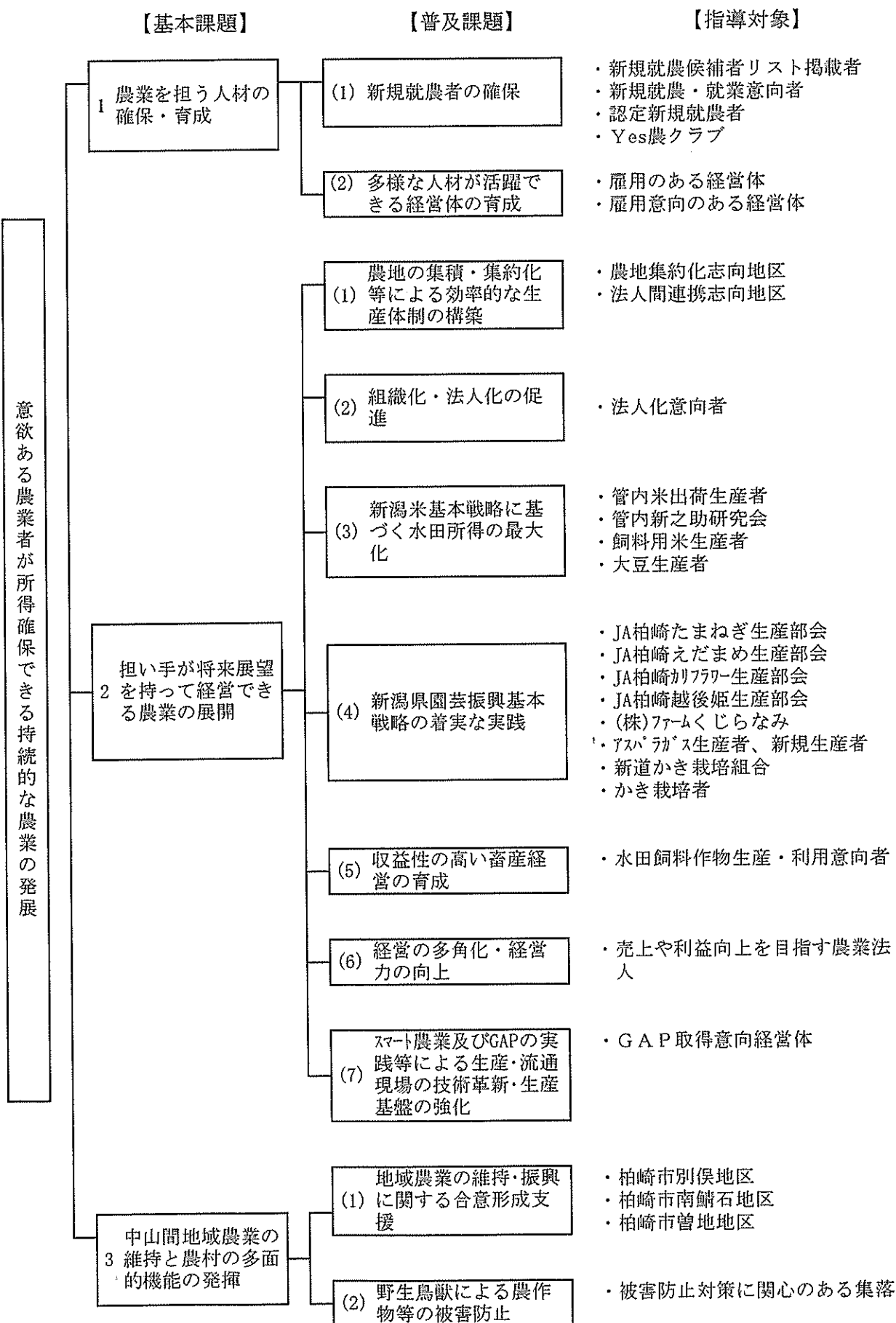
令和4年度 重点課題取組計画

<p>タイトル</p>	<p>中山間地域における持続可能な農業・農村の仕組づくり</p>	<p>横山副部長</p>	<p>柏崎地域振興局農村振興部 (柏崎農業普及指導センター)</p>
<p>基本課題</p>	<p>3 中山間地域農業の維持と農村の多面的機能の発揮</p>	<p>リーダー 中村普及課長 チーム員 小林企画専門員、石本課長代理、田中課長代理、真貝技術専門員、児玉専門普及指導員、坂谷越生普及指導員、佐久間技師</p>	<p>柏崎地域振興局農村振興部 (柏崎農業普及指導センター)</p>
<p>指導事項</p>	<p>(1) 地域農業の維持・振興に関する合意形成支援 ア 営農継続に向けた地域の体制づくり</p>	<p>農材集落サポート人材研修事業、農材集落の野菜プラン策定・実践推進事業、農村集落の新たなチャレンジ支援事業</p>	<p>農材集落サポート人材研修事業、農材集落の野菜プラン策定・実践推進事業、農村集落の新たなチャレンジ支援事業</p>
<p>指導内容</p>	<p>(ア) 地域の関係者の連携による推進体制づくり (イ) 集落機能の維持に向けた将来プランの作成支援 (ウ) 地域が取り組む将来プランの実践支援</p>	<p>農材集落サポート人材研修事業、農材集落の野菜プラン策定・実践推進事業、農村集落の新たなチャレンジ支援事業</p>	<p>農材集落サポート人材研修事業、農材集落の野菜プラン策定・実践推進事業、農村集落の新たなチャレンジ支援事業</p>
<p>◆現状と課題</p>	<p>1 現状 (1) 柏崎市別農地区 ・関係する集落数 3 (久米、水上、細越) ・世帯数 136 戸 ・耕地面積 182ha ・予想される5年後の中心経営体 2 (法人2) ・中山間直払制度は1協定(116ha)に広域化されている。 ・県地域づくりサポートチーム(R2～R3)が別農地区において実践プランの策定(R1)と取組実施に向けた体制づくりを支援した。</p>	<p>2 目標 1 指導対象 (1) 地区の現状分析 柏崎市別農地区 (2) 将来プランの策定 柏崎市南鯖石地区 (3) 将来プランの実践 柏崎市曾地地区</p>	<p>◆具体的活動内容 1 今年度の活動内容 (1) 柏崎市別農地区 ・昨年度までの課題抽出や課題解決に向けた検討結果を、推進チーム内で地元関係者に普及し込み、次年度プラン策定につなげるプラン骨子を作成。 (2) 柏崎市南鯖石地区 ・プラン骨子により具体的な将来プランを策定。 (3) 柏崎市曾地地区 ・法人の経営基盤強化、農地の集積・集約化、鳥獣被害対策、地場産農産物の活用への支援。 <活動スケジュール> (1) 柏崎市別農地区 時期 4月 課題抽出・課題解決に向けた検討結果の確認 5～7月 地元関係者(現状・将来)作成及び取組3本柱の確認 8～11月 新たな作物導入に向けた検討・支援 (2) 柏崎市南鯖石地区 時期 随時 推進チーム打ち合わせ 4～12月 関係機関を含めた協議会で将来プランの作成 1～2月 将来プランの確認と具体的な次年度計画の検討 (3) 柏崎市曾地地区 時期 随時 推進チーム打ち合わせ 7～9月 集落協定活動(電気圃設置)支援 7～10月 地区農地集積の検討会 4～10月 地場産農産物活用支援</p>
<p>◆対成方針</p>	<p>1 柏崎市別農地区 (1) 推進チーム：地域住民、各農家組合、各町内会、コミセン、関係機関(市、J A、振興局) (2) 方針 ・既に地域の課題抽出や課題解決に向けた検討を3年間実施しているため、今までの推進チーム員を母体とした構成で活動を推進する。 2 柏崎市南鯖石地区 (1) 推進チーム：地域住民、各農家組合、各町内会、コミセン、関係機関(市、J A、振興局) (2) 方針 ・令和3年度に引き続き、南鯖石地区コミュニティの専門部会の代表者を中心に将来プランの作成を進める。</p>	<p>◆具体的活動内容 1 今年度の活動内容 (1) 柏崎市別農地区 ・昨年度までの課題抽出や課題解決に向けた検討結果を、推進チーム内で地元関係者に普及し込み、次年度プラン策定につなげるプラン骨子を作成。 (2) 柏崎市南鯖石地区 ・プラン骨子により具体的な将来プランを策定。 (3) 柏崎市曾地地区 ・法人の経営基盤強化、農地の集積・集約化、鳥獣被害対策、地場産農産物の活用への支援。 <活動スケジュール> (1) 柏崎市別農地区 時期 4月 課題抽出・課題解決に向けた検討結果の確認 5～7月 地元関係者(現状・将来)作成及び取組3本柱の確認 8～11月 新たな作物導入に向けた検討・支援 (2) 柏崎市南鯖石地区 時期 随時 推進チーム打ち合わせ 4～12月 関係機関を含めた協議会で将来プランの作成 1～2月 将来プランの確認と具体的な次年度計画の検討 (3) 柏崎市曾地地区 時期 随時 推進チーム打ち合わせ 7～9月 集落協定活動(電気圃設置)支援 7～10月 地区農地集積の検討会 4～10月 地場産農産物活用支援</p>	<p>◆具体的活動内容 1 今年度の活動内容 (1) 柏崎市別農地区 ・昨年度までの課題抽出や課題解決に向けた検討結果を、推進チーム内で地元関係者に普及し込み、次年度プラン策定につなげるプラン骨子を作成。 (2) 柏崎市南鯖石地区 ・プラン骨子により具体的な将来プランを策定。 (3) 柏崎市曾地地区 ・法人の経営基盤強化、農地の集積・集約化、鳥獣被害対策、地場産農産物の活用への支援。 <活動スケジュール> (1) 柏崎市別農地区 時期 4月 課題抽出・課題解決に向けた検討結果の確認 5～7月 地元関係者(現状・将来)作成及び取組3本柱の確認 8～11月 新たな作物導入に向けた検討・支援 (2) 柏崎市南鯖石地区 時期 随時 推進チーム打ち合わせ 4～12月 関係機関を含めた協議会で将来プランの作成 1～2月 将来プランの確認と具体的な次年度計画の検討 (3) 柏崎市曾地地区 時期 随時 推進チーム打ち合わせ 7～9月 集落協定活動(電気圃設置)支援 7～10月 地区農地集積の検討会 4～10月 地場産農産物活用支援</p>
<p>2 課題</p>	<p>(1) 柏崎市別農地区 ・中山間地域等直接支払交付金の加算措置を活用した集落機能の維持やグリーン・ツーリズムの活性化 ・農業体験受入れ施設「田舎の学校さらら」の老朽化 (2) 柏崎市南鯖石地区 ・地域全体での高齢化が進み、法人の構成員も高齢化、中心経営体に意欲をもって農地集積してもらえない体制づくりが必要。 (3) 柏崎市曾地地区 ・新設法人の経営の安定化と農地の集積・集約化。 ・中山間直払いの広域集積協定が2年目のため活動支援が必要。 ・移住者等との共生につながる関係構築。</p>	<p>2 次年度以降の活動内容 (1) 柏崎市別農地区 ・具体的な将来プランの作成支援、加算措置の活用方法の検討 (2) 柏崎市南鯖石地区 ・中山間直支払協定の広域化支援、既存法人の連携体制づくり (3) 柏崎市曾地地区 ・(農)曾地生産組合の経営安定化支援 ・集落が協力して行う鳥獣被害対策の体制づくり</p>	<p>2 次年度以降の活動内容 (1) 柏崎市別農地区 ・具体的な将来プランの作成支援、加算措置の活用方法の検討 (2) 柏崎市南鯖石地区 ・中山間直支払協定の広域化支援、既存法人の連携体制づくり (3) 柏崎市曾地地区 ・(農)曾地生産組合の経営安定化支援 ・集落が協力して行う鳥獣被害対策の体制づくり</p>

令和4年度 重点課題取組計画

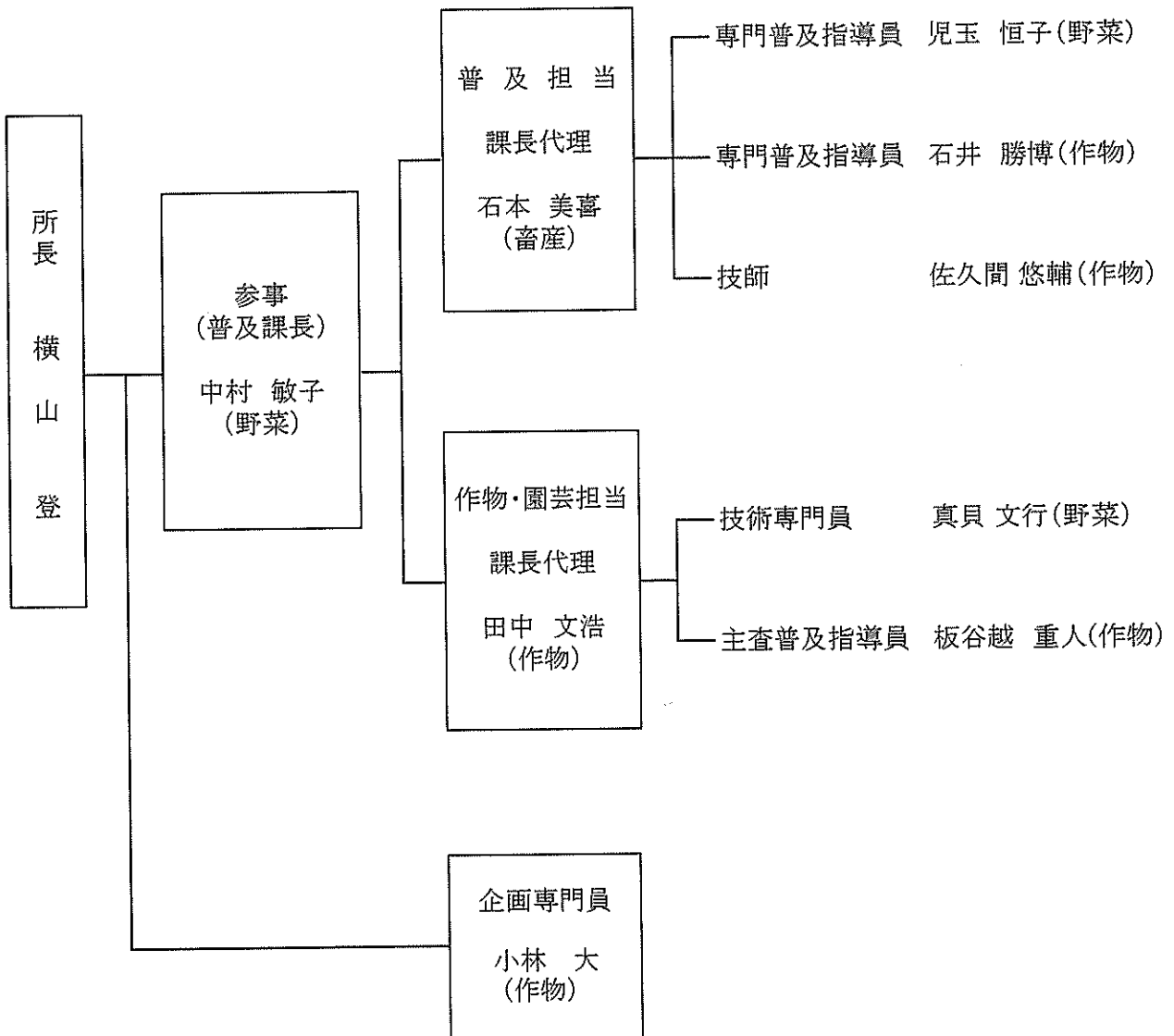
<p>担い手を中心とした安定的な農業構造の確立</p>	<p>担い手等中心経営体の連携体制づくり</p>	<p>担い手等中心経営体の連携体制づくり</p>	<p>担い手を中心とした安定的な農業構造の確立</p>	<p>横山副部長</p>	<p>柏崎地域振興局農村振興部 (柏崎農業普及指導センター)</p>
<p>基本課題 普及指導事項</p>	<p>2 担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開 (1) 農地の集積・集約化等による効率的な生産体制の構築 ア 人・農地プランの話し合い・合意形成支援 (ア) 農地の集約化に向けた担い手間の合意形成支援 (イ) 法人等中心経営体の連携体制づくり</p>	<p>推進体制 (課名) (担当者名)</p>	<p>担い手等中心経営体の連携体制づくり</p>	<p>リーダー サブリーダー チーム員</p>	<p>中村普及課長 小林企画専門員 石本課長代理 田中課長代理、児玉専門普及指導員、石井専門普及指導員、板谷越主広普及指導員</p>
<p>指導内容</p>	<p>① 農地、曾地新田、花田、飯塚、小黒須、五十土、成沢 155.7ha ② 矢田、飯寺、吉井 175.4ha ・中心経営体は25戸 (曾地8、曾地新田3、花田2、矢田5、飯寺1、吉井6) ・中心経営体の経営面積合計は167.8haで集積率は50.7% ・菊尾、曾地、成沢でビレッジプラン重点地区(3年目)として支援中。 ・矢田では集積整備事業を実施中</p>	<p>推進する事業</p>	<p>農法法人連携推進事業(県単)、機耕集積協力金交付事業(国補)、農村集落の将来プラン策定・実施促進事業</p>	<p>農法法人連携推進事業(県単)、機耕集積協力金交付事業(国補)、農村集落の将来プラン策定・実施促進事業</p>	<p>農法法人連携推進事業(県単)、機耕集積協力金交付事業(国補)、農村集落の将来プラン策定・実施促進事業</p>
<p>◆現状と課題</p>	<p>1 現状 (1) 農地集約化(柏崎市中通地区) ・北新西中通地区人・農地プランは6地区を範囲として策定。うち中通地区の総面積は331.1haで、R2年度2ブロック10集落を話し合いの単位として実質化済み。 ① 曾地、曾地新田、花田、飯塚、小黒須、五十土、成沢 155.7ha ② 矢田、飯寺、吉井 175.4ha ・中心経営体は25戸 (曾地8、曾地新田3、花田2、矢田5、飯寺1、吉井6) ・中心経営体の経営面積合計は167.8haで集積率は50.7% ・菊尾、曾地、成沢でビレッジプラン重点地区(3年目)として支援中。 ・矢田では集積整備事業を実施中</p>	<p>◆指導対象と目標</p>	<p>1 指導対象 (1) 農地集約化志向地区 柏崎市中通地区 (2) 法人間連携志向地区 柏崎市南鯖石地区</p>	<p>2 目標 目 標 目 標 (令和4年)</p>	<p>農法法人連携推進事業(県単)、機耕集積協力金交付事業(国補)、農村集落の将来プラン策定・実施促進事業</p>
<p>◆対応方針</p>	<p>1 所内支援体制の整備・関係機関との連携 ・対象地区をビレッジプラン重点地区2年目、3年目地区とし、重点的に支援する。 ・ビレッジプランの将来プランの策定と実質化にかかる営農継続面で目標達成に向け、関係機関と連携し活動する。</p>	<p>◆具体的活動内容</p>	<p>1 今年度の活動内容 (1) 農地集約化(柏崎市中通地区) ・担い手間の協力体制の構築 →目標地区作成プロセスを活用した担い手間の話し合い →機耕集積協力金を活用に向けた話し合い ＜活動スケジュール＞</p>	<p>1 今年度の活動内容 (1) 農地集約化(柏崎市中通地区) ・担い手間の協力体制の構築 →目標地区作成プロセスを活用した担い手間の話し合い →機耕集積協力金を活用に向けた話し合い ＜活動スケジュール＞</p>	<p>農法法人連携推進事業(県単)、機耕集積協力金交付事業(国補)、農村集落の将来プラン策定・実施促進事業</p>
<p>2 課題</p>	<p>(1) 農地集約化(柏崎市中通地区) ・北新西中通地区人・農地プランは6地区を範囲として策定。うち中通地区の総面積は331.1haで、R2年度2ブロック10集落を話し合いの単位として実質化済み。 ① 曾地、曾地新田、花田、飯塚、小黒須、五十土、成沢 155.7ha ② 矢田、飯寺、吉井 175.4ha ・中心経営体は25戸 (曾地8、曾地新田3、花田2、矢田5、飯寺1、吉井6) ・中心経営体の経営面積合計は167.8haで集積率は50.7% ・菊尾、曾地、成沢でビレッジプラン重点地区(3年目)として支援中。 ・矢田では集積整備事業を実施中</p>	<p>3 法人間連携(柏崎市南鯖石地区) ・既に法人と数戸の担い手農家で連携する意向があり、新たな営農体制の構築を支援する。 ・既存の集落型法人は集落機能維持の観点から維持し新法人が中心となって専従者を確保し、営農継続を目指す。 ・新たな生産体制の枠組みが出来た段階で、ビレッジプランで策定する将来プランへの位置づけを進める。</p>	<p>2 法人間連携(柏崎市南鯖石地区) ・連携意向のある法人と担い手農家を対象に、新たな生産体制の立ち上げを支援</p>	<p>2 法人間連携(柏崎市南鯖石地区) ・連携意向のある法人と担い手農家を対象に、新たな生産体制の立ち上げを支援</p>	<p>農法法人連携推進事業(県単)、機耕集積協力金交付事業(国補)、農村集落の将来プラン策定・実施促進事業</p>
<p>3 課題</p>	<p>(1) 農地集約化(柏崎市中通地区) ・北新西中通地区人・農地プランは6地区を範囲として策定。うち中通地区の総面積は331.1haで、R2年度2ブロック10集落を話し合いの単位として実質化済み。 ① 曾地、曾地新田、花田、飯塚、小黒須、五十土、成沢 155.7ha ② 矢田、飯寺、吉井 175.4ha ・中心経営体は25戸 (曾地8、曾地新田3、花田2、矢田5、飯寺1、吉井6) ・中心経営体の経営面積合計は167.8haで集積率は50.7% ・菊尾、曾地、成沢でビレッジプラン重点地区(3年目)として支援中。 ・矢田では集積整備事業を実施中</p>	<p>4 対象事業 4.10.2月 機耕集積協力金交付事業 6月 経営体体育成基盤整備事業 1.2月 目 標 2月 目 標</p>	<p>4 対象事業 4.10.2月 機耕集積協力金交付事業 6月 経営体体育成基盤整備事業 1.2月 目 標 2月 目 標</p>	<p>4 対象事業 4.10.2月 機耕集積協力金交付事業 6月 経営体体育成基盤整備事業 1.2月 目 標 2月 目 標</p>	<p>農法法人連携推進事業(県単)、機耕集積協力金交付事業(国補)、農村集落の将来プラン策定・実施促進事業</p>

第4 課題体系及び指導対象



第5 活動体制及び業務分担表

1 組織及び活動体制



2 業務分担表

	担 当 事 務	主 任	副 任
普及課	1 普及指導活動の企画調整及び実施に関する事項		
	① 普及指導計画の樹立、進行管理及び活動の評価	石本課長代理	田中課長代理
	② 普及関係事業の企画・調整及び実施	石本課長代理	田中課長代理
	③ 地域農業振興協議会の部会運営等に関する事項	中村課長	小林企画専門員
	④ 診断室、実験室、作業室等の管理運営	石井専門普及指導員	中村課長
	⑤ 調査研究の企画、運営	石本課長代理	田中課長代理
	⑥ 試験研究機関と連携した活動の企画、運営	板谷越主査普及指導員	石井専門普及指導員
	⑦ 農林・農地の連携に関する事項	田中課長代理	石本課長代理
	⑧ 職員研修・人材育成に関する事項	石本課長代理	中村課長
	2 地域農業振興及び農業経営改善の企画に関する事項		
(地域農業振興に関する事項)			
① 農業構造の改善に関する普及企画・推進	石本課長代理	田中課長代理	
② 中山間地域の活性化に関する普及企画・推進	田中課長代理	石本課長代理	
(新規就農者等の確保・育成に関する事項)			
③ 新規就農者等の確保・育成に関する普及企画・推進	石井専門普及指導員	板谷越主査普及指導員	
④ 地域農業リーダー育成の普及企画・推進	石本課長代理	石井専門普及指導員	
⑤ 女性農業者の社会参画・起業化に関する普及企画・推進	中村課長	石井専門普及指導員	
⑥ 関係機関・団体との新規就農者等の確保・育成に関する連携・調整	石井専門普及指導員	石本課長代理	
(経営体の育成に関する事項)			
⑦ 経営体の育成に関する普及企画・推進	児玉専門普及指導員	石本課長代理	
⑧ 農業経営相談・経営改善に関する普及企画・推進	児玉専門普及指導員	石本課長代理	
⑨ 農福連携・多様な人材確保に関する企画・推進	中村課長	児玉専門普及指導員	
⑩ 外部専門家との連携及び調整	児玉専門普及指導員	石本課長代理	
3 普及情報に関する事項			
① 農業普及情報提供活動の企画・推進	佐久間技師	石本課長代理	
② 普及情報機材の管理運営	板谷越主査普及指導員	石井専門普及指導員	
③ 農業普及情報システム活用の企画・推進	佐久間技師	石井専門普及指導員	
④ 各種表彰事業に関する調整	石本課長代理	佐久間技師	
⑤ 県民への情報提供	佐久間技師	石本課長代理	
4 農業経営及び農業技術の指導に関する事項			
① 専門項目の総括と活動調整	中村課長	田中課長代理	
② 作物の技術、経営に関する指導	田中課長代理	板谷越主査普及指導員	
③ 野菜の技術、経営に関する指導	真貝技術専門員	児玉専門普及指導員	
④ 果樹の技術、経営に関する指導	中村課長	真貝技術専門員	
⑤ 花きの技術、経営に関する指導	中村課長	児玉専門普及指導員	
⑥ 畜産の技術、経営に関する指導	石本課長代理	田中課長代理	
⑦ 養蚕及び茶の技術、経営に関する指導	-	-	
⑧ 6次産業化(加工)の技術、経営に関する指導	中村課長	児玉専門普及指導員	
⑨ 農薬の適正使用・管理に関する指導	田中課長代理	真貝技術専門員	
⑩ 農業生産工程管理(GAP)の普及推進に関する指導	石井専門普及指導員	児玉専門普及指導員	
⑪ 農業災害に関する指導(農業災害時における農業普及指導センターの普及活動実施要領で規定する指導等)	中村課長	田中課長代理	
⑫ 病害虫防除に関する指導	板谷越主査普及指導員	真貝技術専門員	
⑬ 土壌診断及び施肥改善に関する指導	真貝技術専門員	石井専門普及指導員	
⑭ 展示ほ・実証ほに関する指導	板谷越主査普及指導員	真貝技術専門員	
⑮ スマート農業・農業DXに関する指導	石井専門普及指導員	児玉専門普及指導員	
⑯ 鳥獣被害防止対策に関する指導	田中課長代理	真貝技術専門員	
5 農業の担い手及び経営体育成の指導に関する事項			
① 農業人材の確保・育成指導	石井専門普及指導員	板谷越主査普及指導員	
② 経営体の育成指導	児玉専門普及指導員	石本課長代理	
③ 組織化・法人化等の育成指導	児玉専門普及指導員	石本課長代理	
④ 農福連携・多様な人材確保に関する指導	中村課長	児玉専門普及指導員	
6 農業労働及び農村生活環境の向上の指導に関する事項	-	-	
企画専門員	1 地域農政の総合推進に関する事項		
	① 地域振興計画、農業振興計画等の企画・推進	小林企画専門員	-
	② 農業振興協議会の企画・事務総括	小林企画専門員	-
	③ 農林県単事業及び国補事業に係る企画・調整	小林企画専門員	-
	2 農業構造の改善に関する事項		
	① 地域農業構造の改善に係る企画・推進	小林企画専門員	-
	② ほ場整備等推進プロジェクトチーム活動等の運営・推進	小林企画専門員	-
	3 農山村地域等の振興に関する事項		
	中山間地域等振興の企画・推進	小林企画専門員	-

第6 普及指導員が実施する調査研究の課題一覧表

課題名	実施者
えだまめの簡易被覆による早期出荷実証	真貝、横山
秋植えたまねぎの転炉スラグ施用効果の確認	児玉、中村
ケイ酸質資材の基肥施用における効果確認	田中、板谷越
葉月みのり、新之助の全量基肥肥料の溶出状況の推定	石井、小林
小型ロールベール牧草収穫体系によるWC S用稲栽培調査	石本

第7 新任普及職員が実施する課題解決活動の課題一覧表

課題名	実施者
新潟次郎の多収穫生産実証	佐久間

第8 普及指導活動として実施する実証ほ及び普及が関わる主要実証ほ一覧表

1 普及指導センターが普及指導計画に位置付け、実施する実証ほ等

事業名	期間	対象	担当者	備考(内容)
特殊気象感応体制整備強化事業調査ほ(水稲気応ほ)	R4. 4. 01 ~10. 30	柏崎市春日	佐久間	水稲定期報告(コシヒカリ BL)
	R4. 4. 01 ~10. 30		佐久間	水稲定期報告(新之助)
地力保全測定診断事業調査ほ	R4. 4. 01 ~10. 30		石井	地温測定
地域課題解決実証ほ	R4. 4. 01 ~10. 30	柏崎市下田尻	佐久間	多収穫実証(新潟次郎)
園芸現地課題解決実証	R4. 4. 01 ~11. 30	刈羽村割町新田	真貝	えだまめ
園芸作物技術情報システム調査ほ	R4. 5. 01 ~10. 31	柏崎市矢田	真貝	えだまめ
園芸作物技術情報システム調査ほ	R4. 10. 01 ~R5. 7. 31	柏崎市畔屋	児玉	たまねぎ

2 普及指導センターが関わり支援する実証ほ等

実証ほ名	期間	実施者	担当者	内容
農薬実証ほ	R4. 4. 01 ~10. 30	(社)新潟県植物防疫協会	佐久間	殺菌・殺虫剤
農薬実証ほ	R4. 4. 01 ~10. 30	(社)新潟県植物防疫協会	石井	殺菌剤
農薬実証ほ	R4. 4. 01 ~10. 30	(社)新潟県植物防疫協会	石井	後期除草剤